

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・ソフト事業

コード	名 称
事業名	2020 緊急間伐推進事業
基本施策	42 持続的で個性的な農林業を実践する。

担当部課名	産業振興部農林政策課
作成者氏名	光岡 菊郎
連絡先	22-9666

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市内に所在する要間伐人工林の所有者、要間伐人工林	森林の適正管理を推進するため市内に所在する森林を間伐することにより、森林の適切な整備及び保全を進め、将来にわたる森林の有する多面的機能の持続的発揮を目指します。	
本年度事業内容	人工林(杉・桧)における概ね1ha以上の森林で、林令が16年生から45年生の樹木で、2月末までに20%以上の間伐施業に対し助成します。 申請本数 54,793本 → 補助対象本数 43,602本	
開始年度	平成 18 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等 緊急間伐推進事業補助金交付要綱		

投入資源

	H18	H19	H20
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	10,530	13,200	13,200
負担金、補助	10,500	12,000	12,000
需用費	30		
委託料		1,200	1,200
その他			
合計(A+B)	14,130	16,800	16,800
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	14,130	16,800	16,800
上記①～③に関する特記事項 林齢および補助金額(1本あたり) 16～25年生 96円、26～35年生 117円 36～概ね45年生 214円			

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 20 年度	年度
間伐実施本数	本	60,000	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
間伐の実施本数	市内に所在する森林の適正管理を推進する指標とします。	本	60,000

評 価	必要性	有効性	効率性
4	水源の涵養、二酸化炭素の吸収・温暖化の防止、土壌流失や災害の防止が図れます。	4	森林の多面的機能を発揮することができます。
3			森林施業者の減少、高齢化、後継者不足が問題となっています。

総合評価

A